

- ◆つり技術を高め、より楽しいつりを
- ◆つりマナーを守り、より気持ちの良いつりを
- ◆自然環境を大切に、いつまでも楽しいつりができるように
- ◆仲間と共に楽しむために

上田労働釣

「上田労働者つりの会」会報

<http://uedaroutyou.jimdo.com/>

発行責任者 渡部 昭和

連絡先 〒386-0155

上田市蒼久保1056-16

TEL 0268-35-0783 (fax兼)

発行日 2015年11月20日

71号



10:00~14:00頃まで、楽しいひと時でした。来年はもっと大勢でやりましょう。

バーベキューにキノコ汁のおまけつき河川清掃

10月4日、恒例の河川清掃を行いました。
 本沢の最初の堰堤付近です。今年は意外とごみは少なかつたように見えますが、一歩林の中に入れば様相はがらりと変わり、とても拾い切れる程度ではありません。
 場所を決めて計画的にやるか、それとも少し力を入れて人を集めてやるかしなければなりません。下の写真で手前に映っているのは、パール缶を利用したロケットストーブで、それなりの火力もありますので、今回はキノコ汁に挑戦してみました。
 鍋は真つ黒になりますが、まきの使用量も少なく、化石燃料ではありませんので自然には優しい。
 パール缶二個ですので、次回は一個でより使いやすいものと考えています。
 上田労働釣のこの活動をF B野に考えても良いのかも。

ご紹介したところ、結構な反響がありました。
 ツイッターやフェイスブックなども活用することを今後考えてみたいものです。
 他にも生ごみ処理の木箱をつくりましたが、この反応も良く、結構「エコ生活」に若い人たちの関心も高いようです。
 上田労働釣の活動の一つの分野に考えても良いのかも。

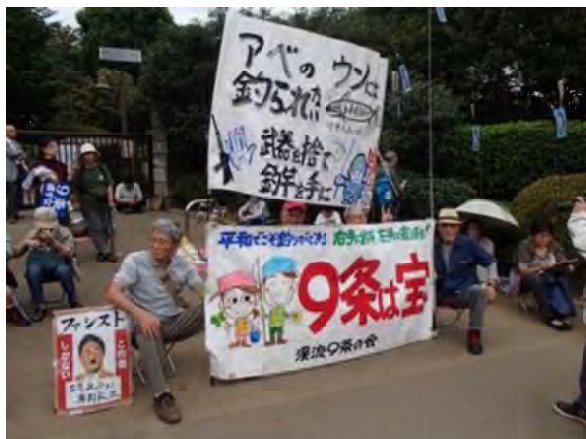
溪流9条の会が国会へ

安倍のウソに釣られない。武器を捨て、釣竿を手に。

みんな頑張っています。私たちも頑張ります。

総がかり実行委員会は、来年五月までに、二十万の署名を集めることを提起しています。

用紙はありますので申し込んでください。署名の取扱い団体は「上田労働釣」です。



来年の8月27日~28日の日程で、日本労働釣の総会が上田で開催されることになりました。真田丸の関係で宿泊場所の確保が難しくなることも予想されますので、早めに確保するとし、鹿教湯温泉の国民宿舎鹿月荘にほぼ決まりました。

会員の皆さんの参加とご協力をお願いします。

定期総会・忘年会のお知らせ

日時 11月29日(日) 11時から
 場所 スナック「道」 いつもの所です
 会費 大体3000円くらい

たくさん集まって、元気に楽しくやりましょう。

2015北海道釣行記

北海道釣行の魅力に取りつかれて、今年もまた行ってき

た。9月7日午前1時30分自宅を出発、羽田発JAL565便で女満別空港着。

レンタカーの手続きを終え、北見市を経由し留辺蘂のはずれのケシヨマップ川を目指す。この川は今までの釣行で誰も入った経験がない川で、期待と不安が入り混じっていたが到着して見ると、川幅はあるが水深が無くザラ瀬ばかり、全員が小物のヤマメばかりだった。

この日の泊まりは、三光荘で温泉は良かったが値段の割合には食事も部屋も粗末だった。9月8日毎年大物と大漁が期待できる「置戸ダム」上流部へ移動。

この日は、全員尺物のアママス(蝦夷イワナ)を始めヤマメも釣れ、魚籠を一杯にして笑顔の一日だった。明日のカレイ・ホッケ釣りのため、サロマ湖温泉に入浴後、海岸の番屋で雑魚寝の宿泊。

9月9日早朝5時、常呂港を慶福丸で出港。曇りで風が強く寒い日で、海釣りの経験が少ない私は船酔いの心配もあって不安だらけ。出港して間もなく船の周りにイルカの

群れと遭遇し、船上で騒いでいるとその先に、数百頭ともあるイルカの大群が列を作って移動しているのを発見。80代の船長も「こんな大群を見るのは初めて」と驚いていた。

魚が追われてしまい釣りにはならないとのことで、この日はタラとカレイをわずか釣っただけで終了した。ウトロへ移動し、民宿知床荘泊。

9月10日は海釣りの本命サケ釣り。早朝4時慶福丸の船長の息子が船長だという陽光丸で出港。

昨日より海は穏やかで日差しもある。全くの初心者のは船長の母親や宇沼さん手ほどきを受けながら挑戦。他の人たちは次々に大きなサケを釣り上げている。私は釣れなくて元もと言う気であるせいもある。焦る気は全くない。それでも待望のアタリだった。慣れない巻き上げに時間がかかりバラしてしまった。結果は3尾掛けたが釣果はゼロ。経験の無さが釣果に影響することを痛感した。後半に宇沼さんはトリプルで掛けたが、取り込みに失敗して2尾となってしまう。

それでも、計5尾とベテランの腕を見せつけられた。他の皆さんは2尾〜6尾と笑顔で終了。

宇沼さんからは4尾をいただき、上田へ発送した。なんと輸送代金5600円(包装代込)。

濃霧の知床峠を越え、民宿「熊の入った家」泊。太めのおばちゃん夕食を満喫した。9月11日小雨。佐藤さんと宇沼さんと私は、昨年の大漁の「オツカバケ川」へ。桑原・鈴木さんは午前中は民宿で休憩。オツカバケは25cm超えのオシヨロコマが釣れ、期待通りの大漁だった。

1時の昼食は民宿のおばちゃんの特製うどんと暖かい炊き込み飯。10月末の日曜日、東信医療生協の「健康祭り」が行われました。

「健康祭り」今年も盛会

10月末の日曜日、東信医療生協の「健康祭り」が行われました。

今年も島田さんが佐久穂町から駆けつけてくれました。

今年も島田さんが佐久穂町から駆けつけてくれました。

今年も島田さんが佐久穂町から駆けつけてくれました。

立てご飯をいただいた。午後には私と鈴木さんは、午前中に釣ったオツカバケへ、残りの時間は魚を捌くことにし、佐藤・宇沼・桑原さんは、知床半島の道道87号の終点「相泊」から更に奥の川へ釣行すると

午後4時過ぎに、東京の皆さんの協力を得て羅臼クロネコヤマトから約12kgを自宅へ発送した。

知床峠を越えウトロの知床ホテルへ向かう。予約が名児耶さん名義でなかったため「予約がない」との事で、迷走してしまいうまく解決したのは6時半。疲れも手伝わて熟睡。

9月12日晴れ最終日を迎えた。今日は幾品川の支流シュンクベツ川を目指す。この川は、小ヤマメとオシヨロコマ

で、2時までの釣りで鈴木さんは体調不良で釣りませんでした。皆さんの魚籠は満タシでした。この日の私の釣果は東京の皆さんに持ち帰ってもらった。ここで着替えをし、途中で夕食を済ませ

女満別空港へ向かう。JAL566便で羽田着22:20。自宅着13日am2:17。

この釣行で、強く印象に残ったことは「イルカの大群に出会えたこと」「サロマ湖の素晴らしい夕日」と酔い止めの薬を飲んでいただとはいえ「全く酔いしなかったこと」でしょうか。多分薬を飲まなくても大丈夫だと自信が持てたことです。

また元気で来年も「北海道釣行」に行きたいと思っています。

一年間の活動を支えます。今年の総売り上げは、ちよつと少な目で88500円ででした。

イワナ、ヤマメ、アユの塩焼きは300円、イワナ酒一杯100円、持ち帰りは200円、生のオシヨロコマ一袋500円、山形の玉コンニャク一串100円が販売価格。

失敗

入会申込書を忘れてしまった。せつかくそれらしく話されたのに、残念でした。それも若い人。

昨年、会員拡大のためにハガキ大の申込書をつくったのですが、やはり常時持ち歩かなくては効果がありません。

今年も島田さんが佐久穂町から駆けつけてくれました。

佐久穂町から

島田さん

売り上げ

ところで気になるのが売り上げです。何といっても会の

